

“まちづくり、を考える情報誌”

Let's まちづくり From now on



おまち

Vol.
111

“猪突
猛進”号

2019. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



みなかみ町 宝川温泉 混浴露天風呂 摩訶の湯



甘楽町 城下町小幡さくら祭「武者行列」



桐生市 色鮮やかなお宝がつり下がるあびす講



魅せる風景・いい景色

- 景観行政団体にみなかみ町移行 ～景観計画の策定に向けて～
- 歴史文化の魅力を発信！歴まちカード
- 平成30年度 片品村景観講演会

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.18

『TOKYO北区時間2018』に惹かれて～このまちの一步奥へ

【投稿】先進都市現地調査 ～栃木市における歴史的建造物を活かしたまちづくり～

マーチィ'sROOM ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊

●マーチィ VOICE ファシリテーター紹介

●マーチィの掲示板 国土交通大学校に行ってきました。



【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介

- まち'sクリの独り言





景観行政団体にみなかみ町移行 ～景観計画の策定に向けて～

みなかみ町 地域整備課

みなかみ町は、平成30年10月20日に景観行政団体へと移行しました。
今後は、以下の方針で景観計画を策定していきます。

■ 目的

みなかみ町は、谷川岳を中心とした山並みと、その斜面に広がる深く濃い森林に抱かれ、大水上山を水源地とする利根川や赤谷川、谷川などの清流が軸となって形成された美しい自然に恵まれ、三国街道の宿場町として往時の面影を色濃く残す街並みや、養蚕の育成のための屋根形状が特徴的な古民家など、みなかみ町の生い立ちや成り立ちを今に伝える、多くの歴史的景観も残されています。

こうした中、本町は、平成29年6月に「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを受け、地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然環境や天然資源を持続可能な形で活用することで、地域の社会経済的な発展を図ることを目的に、人間社会と自然環境の共生を実践するモデル地域としての役割が期待されています。

「みなかみ町景観計画」は、これまで受け継がれてきた豊かな自然環境と、それを拠り所としてきた私たちの生活・文化が調和・共生する風景を育み、質の高いまちづくりの実現を世界に発信するため、本町にとって望ましい景観形成を進めるための施策の指針として策定するものです。

■ 位置づけ

みなかみ町のまちづくりの上位計画である「みなかみ町総合計画」及び「みなかみ町都市計画マスタープラン」と整合を図りながら、景観部門の個別計画として、住民の意見を反映させながら計画を策定します。

■ 景観づくりの理念

みなかみ町の景観づくりは、「全国どこにでもある景観」を追従するのではなく、「人と自然の共生を実現するモデル地域」としてのみなかみが有する固有の魅力を守り・さらに磨きをかける景観づくりを目指します。

このため、山並みへの眺望や豊かな森林、利根川の清流などの自然的景観のほか、三国街道の宿場町としての歴史・文化を残す景観などの本町の財産を固有の魅力と捉え、それらを守り、活かしてさらに魅力を高めていくことを理念とします。

■ 将来像の設定

生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的とした「ユネスコエコパーク」の理念や、「みなかみ町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられる「これまで受け継がれてきた豊かな自然環境と、それを拠り所としてきた私たちの生活・文化を、人と自然の共生を実現するモデルとして世界に発信する」という考え方に基づき、「いにしえから受け継がれる雄大な自然と風情を活かし人々に癒やしと安らぎをもたらす景観づくり」を設定するものとします。



たくみの里 水車



利根川諏訪峡



名胡桃城址





歴史文化の魅力を発信！歴まちカード

桐生市 都市計画課・甘楽町 建設課

歴史文化遺産を生かしたまちづくりを進める都市の魅力発信しようと、国土交通省関東地方整備局は、関東甲信13都市の「歴史まちづくりカード」を作成しました。

群馬県内では桐生市と甘楽町でカードを受け取ることができます。

■ 歴史と伝統が織りなすまち 桐生市

桐生市では、平成30年1月に地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づく「桐生市歴史的風致維持向上計画」を作成し国からの認定を受けました。桐生市の「歴まちカード」は、360年の歴史と伝統を誇る桐生祇園祭の勇ましい神輿渡御で、まさに桐生を代表する「魅せる風景」である歴史的風致を取り上げました。裏面には、写真の解説やその他の「いい景色」である歴まちスポット等を掲載し、桐生の魅力を発信しています。配布場所は、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区のほぼ中央に位置する「伝建まちなか交流館」となっています。カードを片手に、桐生の歴史ある町並みをゆっくり散策してみたいかがでしょうか。

今後も、歴まちカードを一つのツールとして、桐生に訪れていただけるよう本市の歴史まちづくりについて積極的な発信をしていきます。



桐生市「歴まちカード」



桐生新町重伝建地区のまち並み



甘楽町「歴まちカード」

■ 名水流れる織田宗家ゆかりの城下町 甘楽町

甘楽町の歴史的風致は、名勝「楽山園」を核として、城下町の風情を伝える武家屋敷や明治期の養蚕農家建造物と住民の生活に溶け込んだ「雄川堰」とが造る町並みを舞台に、この地域に住む人々の営みとして受け継がれる小幡八幡宮例大祭、笹森稻荷神社祭礼などの伝統的行事、多様な石積みの文化と瓦製造やこんにゃく栽培などの産業とが一体となって形成されているものです。同計画においては「小幡城下町地区(207ha)」を重点地区と定め、歴史資産、資源を保存・活用しながら町の活性化を図ることを目的として、多くの来訪者に甘楽町の歴史的風致に触れていただくため、まちなかの回遊性向上を図る「歩きたくなるまち小幡」の整備を行ってきました。

甘楽町のカードは、国指定名勝「楽山園」の写真を採用し楽山園番所と甘楽町役場で配布しています。カードは甘楽町に来ないと手に入らないため、多くの方に町へ訪れていただき、歴史を直接感じて欲しいと思っています。



往時の姿を残す雄川堰と桜並木





平成30年度 片品村景観講演会

群馬県 県土整備部 都市計画課

片品村・群馬県・群馬県都市計画協会の共催による景観講演会が平成30年12月1日(土)、片品村役場(2階会議室)で開催されました。

東京大学大学院工学系研究科教授の中井先生を迎え、「身のまわりから考える風景づくり」をテーマに講演していただきました。

中井先生は、景観論、公共空間・公共施設のデザインとまちづくり、近代土木デザイン史などを専門にされ、主なプロジェクトには岸公園(島根県)やベレン地区公園図書館(コロンビア・メデジン市)、竹田城下町再生のまちづくり(大分県)、山中湖村のまちづくり(山梨県)など、多くのまちづくりに係る実務のほか、全国各地で景観に係る講演をなさっています。



中井教授

講演会では、先生が手掛けた多くの実例を写真で示しながら解説していただきました。

その中でも考えさせられたのは、公共と個人の間にある共同体(地域、地区、町内会など)での日常の暮らしが希薄となり、近代では、公共と個人の2極に分化したことにより、身のまわりの日常の風景をつくる主体が消えつつあるという現状です。行政機能が高度化し創り出される風景の一例として、宮城県の津波被災地の中小河川復興整備が挙げられ、コンクリートで完全に覆われた堤防は、機能としては充分であっても川との親水性が失われてしまった事例が紹介されました。また、個人主義の確立によって自由な「個」が主張し我を張りあう風景が創り出されている実例などにより、近代化した社会構造の現状を学ぶことができました。

このような背景を前提として、講演は近現代という時代の特徴とパブリックスペース(地域の広場、道、川、公園など)の可能性へと展開されていきます。ここで、ベレン地区公園図書館(コロンビア・メデジン市)の事例が取り上げられ、これまでは治安が悪く自衛のために家に閉じこもっていたメデジン市民にとって、屋外のパブリックスペースは平和の象徴となり、「生きる理由や人生の楽しみは一見ありふれた日常のなかにこそある。」という日常の価値をパブリックスペースが与える



景観講演会の様子

ことができる市民から教えられたそうです。私たちの「身のまわりの日常の価値を共有して生きるためのインフラ=身近なパブリック」が次代のまちづくりには必要となってくることを教えていただきました。

風景とは人々の暮らしや生き方の結果が映し出されたものであるという先生の言葉が心に残り、終始講演に引き込まれる内容でした。受講者の皆さんもとても有意義な時間を過ごされたことと思います。





『TOKYO北区時間2018』に惹かれて～このまちの一步奥へ

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

東京都23区の中で方角が区の名前となっている唯一の区・北区。東京商工会議所北支部が発行している『北区時間』を研究室の大澤先輩からいただいたことがきっかけで、十条・赤羽・王子を一巡りしてきました。このまちの一步奥へを探しに……。



□ まち、そのものが人情劇～十条

昨年11月11日。秋晴れの中、JR埼京線十条駅からまち歩き探訪がスタート。駅を降りてすぐに東京三大銀座の一つ、十条銀座商店街があります。銀座と名がつくがレトロな感じと人々の活気があふれており、どこか居心地が良い懐かしい気持ちになる商店街で、食べ物から雑貨まで様々なものが揃う場所です。

十条銀座通りを少し歩くと「篠原演芸場」があります。昭和26(1951)年に開館し東京で最も古い本格劇場で、現在は都内に三軒しかない大衆演劇専門の劇場です。地元民に愛され地域に根づいており、平成10(1998)年には十条の中央商店街という名前を演芸場通りに変更した程。時代劇、剣劇、人情劇と芝居の幅は広く是非一度足を運んでいただきたい場所です。



昭和26年に開館した「篠原演芸場」。十条中央商店街の人情の象徴ではないでしょうか。

□ 話題の赤羽のこんな近くに身近な自然が・・・

赤羽は昔ながらの飲み屋街が多く立ち並ぶイメージ。ポスト吉祥寺とも言われているとか……。混沌とした駅前から15分も歩くと「岩淵水門」に到着。もともとは荒川と隅田川の流れを制御するための水門でしたが、今ではその役目を終え歴史的な建築物として保存されています。レトロな赤い色の水門の壁が印象的で水門の上は歩道になっています。

近くにある荒川知水資料館では荒川や荒川高放水路について詳しく学ぶことができるので、現在は子どもたちの学習の場や人々の憩いの場として親しまれています。河川敷には、BBQエリアやサイクリングコースなどもあり、自然の中でリフレッシュした休日を過ごすことができるのも魅力です。自然にも恵まれた、もう一つの魅力を感じに、赤羽に是非足を運ばれてみては……。



岩淵水門は、歴史を感じることでできるモニュメント。河川敷のBBQも惹かれるうー!!

□ 徳川吉宗が開拓した王子・飛鳥山

飛鳥山の桜は、八代将軍・吉宗が開発した、江戸時代の都市近郊観光地であることは知られています。

また、公園内には「渋沢資料館」があり渋沢栄一翁の活動を紹介するため1982年に開館。かつて渋沢翁が住んでいた旧渋沢邸跡地にあり、資料の収蔵・展示に加えて、旧渋沢庭園に残る大正期の2棟の建築「晩香廬」「青淵文庫」の内部公開もしています。まち歩き探訪のその日は、渋沢翁の命日で、引き寄せられたのかもしれませんが。ちなみに当日は、入館料無料でした。

エリア毎に特徴がある北区。まさに、“このまちの一步奥へ”の意味がわかった気がした一日でした。また、別の北区にふれてみたい……次は、田端、鉄道・都電、そしてやはり赤羽の赤提灯での“おでんと出汁割り”でしょうか!?



北とびあの展望台からみた飛鳥山。将軍・吉宗も見ることのできなかった俯瞰景。鉄分濃度の高い人は、ジオラマをみているような気分に……。

担当

田子吹武季・大竹遼・大澤亮介(大下ゼミOB・現在(一社)東京北区観光協会)





先進都市現地調査 ～栃木市における歴史的建造物を活かしたまちづくり～

群馬県 県土整備部 都市計画課

平成30年11月29日(木)に、栃木県栃木市で群馬県都市計画協会主催の先進都市現地調査を実施しました。

■ 栃木市 歴史的町並み景観形成地区

栃木市は江戸時代、巴波川を利用した集荷や例幣使街道の宿場町として栄えていました。商都として栄えていた栃木市は蔵造りの街なみが広がっていましたが、昭和40～50年代に入ると、近代化の影響で蔵造りの建物は減っていきました。そのような中で、大通りや巴波川を中心に土蔵造りの建物や洋館等歴史的な街なみが数多く残っていたことから、こうした町並みを残そうと昭和50年代以降、歴史的資源を活かしたまちづくりに取り組みはじめました。昭和63年には栃木県の『誇れるまちづくり事業』に指定され、大通りのアーケードや歩道橋の撤去、電柱の地中化、遊歩道等の整備や「町並み修景ガイドライン」に沿って歴史的建造物の修景を行うなど、市民と行政が一体となって歴史的町並み景観形成が進められてきました。

こうして整備された大通りや歴史的建造物は、市民団体のイベント等にも活用され、交流人口の増加や商業の活性化につながっています。

こうした市民と行政が一体となった取組みが評価され、平成21年には都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」を受賞しています。

現地視察では、ガイドさんと栃木市都市計画課職員のご案内のもと、修景事業等で整備した建物等を見学しました。古くからある建物以外にも、銀行やカフェなどの店舗も景観に配慮したデザイン、色合いになっており地区全体が良好な景観づくりに取り組んでいる様子が伺えました。

良好なまちづくりを進めていくためには、官民が一体となり地域を盛り上げていくことが重要なのだと改めて思いました。



修景された大通り沿いの建物



市民団体により運行されている遊覧船



景観に配慮したデザインのカフェ





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「緑の水脈 群馬・利根川流域の美しい自然」 著者：新井幸人 出版：株式会社小学館



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



本書は群馬県内の利根川流域にスポットを当て、美しい自然について見所・見頃を写真に添えて紹介しています。

利根川は流域面積が日本最大の川となっており、その水は飲料水、水力発電、工業用水と様々な用途に利用され、私たちの生活と切り離せない存在となっています。

その水を命の源として、植物などが群生し群馬の自然を形成しています。本書ではそんな水が成す川や森の役割や群馬における変遷を簡単に解説しています。

景観を考える上で市街地における景観だけが景観ではありません。群馬の豊かな自然景観の美しさを認識することも重要なことです。それは雄大な自然だけでなく、身近なものでもよいと思います。ちょっと違う視点で目に映る景色を見ることが景観を考えることの大きな一歩になると思います。景観に興味を持ったけれど、景観というものがよくわからないという人にとって、景観というものを目で見て感じることでできる一冊になっています。難しいことは考えず、単純に美しいと思った景色、それが良い景観というものなのではないでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

富岡市 都市計画課 古市 早紀



古市 早紀さん(下段右端)



講座の様子

平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けた富岡市都市計画課の古市です。

意見交換の場が苦手だったこともあり講座を受けに行く前は、6日間も講座があるなんてなんて長いのかと思っていましたが、実際に参加してみると学ぶことが多くあっという間の6日間でした。

ファシリテーターには、楽しんで参加できる雰囲気を作ったり、参加者から上手に意見を引き出したり、引き出した意見をまとめたり、時間管理をしたりと様々な役割がありました。1つを意識すると別の役割が欠けてしまい、同時に様々な役割を意識しながらワークショップを進めていくのはとても難しかったです。最初にファシリテーターをしたときは、議論についていくのが精いっぱいですがファシリテーターの役割は全然果たせませんでした。実践形式で何度もワークショップを経験することで少しずつ身につけることが出来たと思います。今後も経験を積んでファシリテーターの技術を磨いていきたいです。

大下先生と事務局の方々の雰囲気作りのおかげで楽しく学べ、他の受講者との繋がりもでき、充実した6日間でした。ありがとうございました!

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行ってきました。



群馬県都市計画課都市計画係の大澤です。

2018年9月25日から10月5日までの9日間、東京都小平市の国土交通大学校で「土地利用計画研修」を受講しました。

講義では、人口減少・高齢化が進展する中で、快適な生活環境や持続可能な都市経営を実現するための「コンパクト+ネットワーク」の推進や低未利用地の利用促進など、土地利用や都市計画制度に関する幅広い知識を修得することができました。

また、GISソフトや都市構造可視化を用いた都市構造分析を行い、立地適正化計画策定に向けた方針を作成する班別討議、全体発表を行うゼミナール課題もありました。我々の班は群馬県桐生市について都市構造分析を行い、立地適正化計画の案を作成しました(桐生市の職員はいませんが…)。立地適正化計画策定に向けた、都市構造の分析から計画策定までの実務を実践的に体験することができ、大変参考になりました。

研修には、全国の自治体から60名が参加しており、全国各地から集まった研修員との交流を通して多くのことを学ぶことができました。

私は今年度より都市計画の業務に携わっておりますが、日頃の業務の中で十分理解できていなかった都市計画の法制度や考え方を改めてじっくり勉強することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今回習得した知識をこれからの業務に生かせるように、取り組んでいきたいと思っております。



老神温泉雪ほたる

利根観光会館周辺に作られた小さなまくらにキャンドルがともされ、神秘的な光が雪の中に浮かび出される。

■1月5日(土)～2月23日(土)
の土曜日と祝前日
日没～22:00頃

■老神温泉内
【お問い合わせ先】
老神温泉観光協会
Tel.0278-56-3013



沼田だるま市

歩行者天国となった本町通りにだるまなどの縁起物を商う露天が並び、大勢の人で賑わう。午後には須賀神社でだるま供養が行われる。

■1月16日(水)
12:00～20:00
(露店:12:00～19:00)

■本町通り
【お問い合わせ先】
沼田商工会議所
Tel.0278-23-1137



原町不動尊追儺祭

家内安全や商売繁盛を祈願しての節分の豆まきで、甘酒や福引きのサービスなどがあります。

■2月3日(日)
9:00～15:00

■原町観音山不動堂
【お問い合わせ先】
東吾妻町観光協会
Tel.0279-70-2110



第34回桐生広域物産まつり

桐生広域の各種物産だけでなく国内親善都市(日立市・鳴門市)や、ますのすし等全国の特産品も展示即売します。

■2月16日(土)～2月17日(日)
10:00～16:00

■桐生市市民文化会館4階
スカイホール他
【お問い合わせ先】
桐生広域物産振興協会事務局
(桐生市観光交流課内)
Tel.0277-46-1111



ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム まちの価値を高め、まちのまとまりを 形成するための戦略

「リノベーションと公的不動産活用でまちを元気にする」と題して、元国土交通省国土交通政策研究所長の佐々木昌二氏による講演を行います。

参加には事前に申込みが必要です。

【日時】1月24日(木)13:30～16:30

【会場】群馬会館ホール(前橋市大手町二丁目1-1)

【申込み・問い合わせ先】

群馬県都市計画課
Tel.027-226-3654



地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

まちづくりラボ・サルベージ株式会社



- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査

群馬県webサイト



『魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク』のアシスタントとしてもお世話になっております！

東京都町田市市中町1-22-7
Tel.042-729-8618 Fax.042-729-8619

帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics Department of Tourism Management



2018年4月
新校舎棟 SORATIO SQUARE
完成！

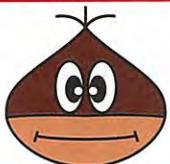
幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識をあわせ持った人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日	※一般入試1期1月31日(木)は、高崎試験場を含む地域試験場がございません。 ※出願方法はインターネット出願です。
※詳細は必ず「入学試験要項2019」をご確認ください。	一般入試1期 平成30年12月20日(木) 平成31年1月22日(火)	【試験日自由選択制】 1月31日(木) 2月1日(金) 2月2日(土)	2月8日(金)	

お問い合わせ先 TEL:0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL:http://www.teikyo-u.ac.jp

まち'sクリの独り言



皆様、あけましておめでとうございます。今号は1月1日発行の第111号と「1」づくしです。それにあわせて特集タイトルも「魅せる景観・いい景色」と「1」に絡めたタイトルにしてみました。気づいたあなたは今年一年いい年になります。

ところで、皆さんボクの事覚えてますかクリ…? 85号までマーチと県内の地名の由来をお勉強していたまち'sクリです。それ以来イベント情報でしか顔が出ず、前号(110号)・前々号(109号)は顔すら出ず…(涙)。ボクももっと、グンマのまちづくりのお手伝いをしたいクリ!

なのでこれから「おっ!まっちい~」のどこかにひょっこり出るかもしれないクリ。これからはより一層じっくり「おっ!まっちい~」を読んでみてほしいクリ。

今年も「まちづくり」を考える情報誌「おっ!まっちい~」をよろしく願いますクリ~。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3655 URL http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html